

八雲の女子高生「花の首飾り」作詞

ザ・タイガース 瞳さん、新著でルーツたどる



④「作詞者が八雲の瞳さん、出身地は八雲町、瞳さんの花の首飾り物語」

1960年代後半に活躍したグループサウズ「ザ・タイガース」の代表曲「花の首飾り」の作詞者(原詞者)は、渡島管内八雲町の女子高生だった。今年12月に44年ぶりにオリジナルメンバー5人で再結成し、公演をするザ・タイガースのドラマ

語(小学館、1575円)。68年に月刊誌「明星」で公募され、約13万編の中から菅原房子さんの作品が選ばれた。菅原さん作詞、手を加えたなかにし礼さん補作詞となり、すぎやまこういちさんが作曲。瞳さんは「タイガースに戻り、僕の歩んできた道を俯瞰できた時、最もヒットしたこの曲の作詞者についてほとんど知らないことに気付いた」という。当時の八雲町に住む19歳の女学生という情報を基に調べ始めたが、難航した。「現地に行くしかない」と2010年10月には同町を訪ねて取材。親類を探し当て、菅原さんが愛知県で就職し、そこで結婚していることが

分かり、電話でのインタビューも実現した。それによると、八雲高校定時制(当時)4年の時に友人に誘われて応募した。花を摘んでの首飾り作りがはやっており、花の首飾りが浮かんだ時に真っ先に思い出したのがパレエ音楽「白鳥の湖」の物語という。歌詞には、花を摘む娘たちが湖に浮かぶ白鳥に姿を変えて情景も登場する。

約7 命訓 査す 高支 用支 が抜 をN 漏ら た疑 月に 課は ある。 販不 ーネ 7日 野球 ルで 査を 舗が して を通 参加 上の